

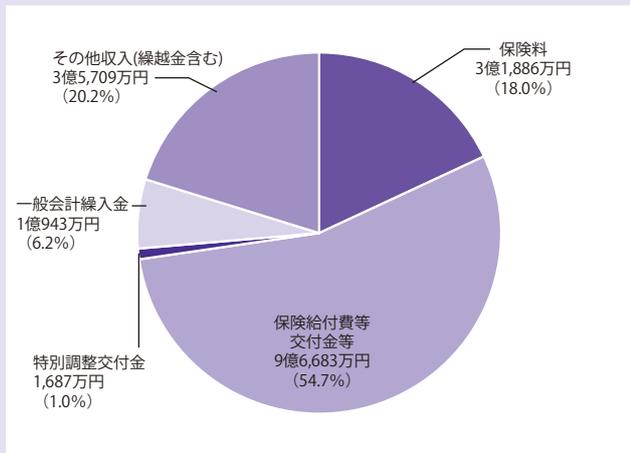
令和元年度 国民健康保険特別会計決算状況をお知らせします

問 住民福祉課 国保年金係 ☎62-9111

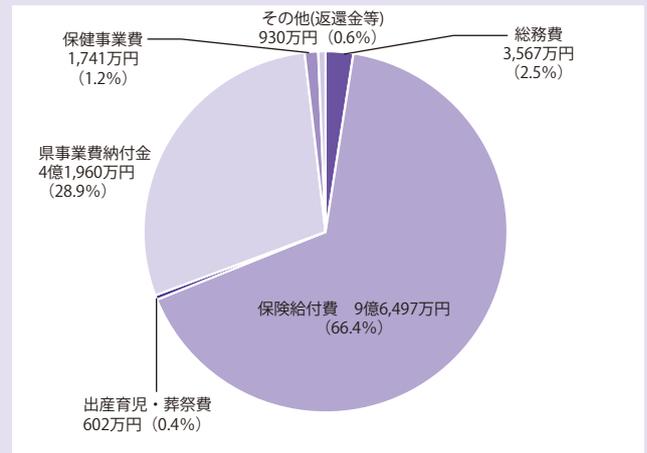
令和元年度国民健康保険特別会計の歳入総額は、17億6,911万3,463円、歳出総額は14億5,299万7,472円でした。また、単年度収支では、3,066万1,505円の赤字となりました。

決算状況では、平成30年度より市町村とともに長野県が国民健康保険（以下、国保）の財政運営の責任主体となり、県へ運営費として国保事業納付金を収めることで、富士見町が支出する保険給付費は、保険給付費等交付金として全額交付されています。このため、保険給付費の増加による収支の悪化は発生しなくなりましたが、医療費水準や所得等により算出される国保事業納付金は、今後大きな負担となる可能性があります。また現在、長野県では保険料（税）水準の県内統一に向けた検討が行われています。

【歳入】17億6,911万3,463円



【歳出】14億5,299万7,472円



医療費を抑制するために

令和元年度の富士見町における国保の一人当たりの医療費は337,705円(前年比18,147円増、5.7%増)でした。

医療費は、高度医療や高額薬剤などの影響により年々増加傾向にあります。富士見町では、特に昨年度末との比較で被保険者数が122人と大幅に減少しましたが、医療に係る一人当たり件数はほぼ同数であるにもかかわらず、総医療費で、約3,525万円増加しています。

医療費や保険料の抑制のためにも、日頃からの健康管理とともに病気の早期発見、早期治療に努めることが大切です。

定期的に特定健診(※)等を受診しましょう。

※保健センターで行う集団健診や各医療機関に出かけて行う健診です。

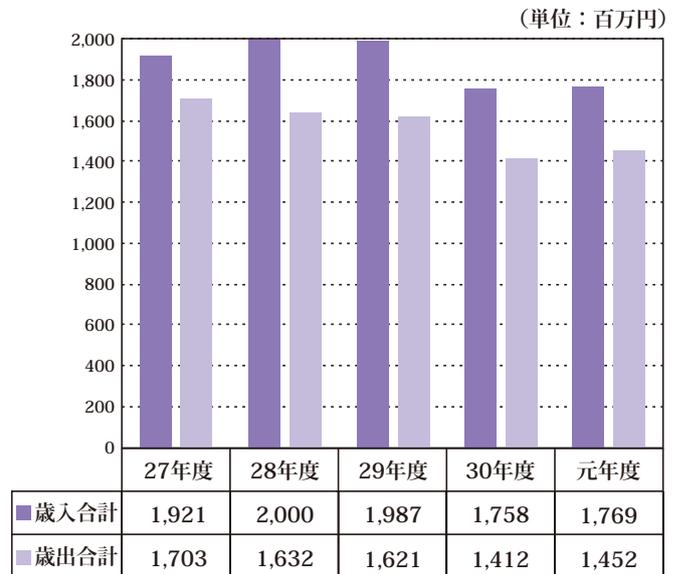
◆人間ドックを受けられた方に補助を行っています。(国保加入者)

- ・日帰り受診 15,000円
- ・一泊受診 30,000円
- ・令和元年度実績 日帰り207件、一泊43件

◆令和元年度特定健診等受診者数

- ・集団健診 717人
- ・医療機関健診 318人
- ・保健指導 92人

国民健康保険 特別会計歳入歳出決算額の推移



令和元年度一人当たり医療費と伸び率

	一人当たり医療費	伸び率
一般国保	337,847円	5.8%
退職国保	242,149円	▲29.4%
全体	337,705円	5.7%